

令和6年度同期会代表の挨拶

40期 フォーマル会代表 松木 義昭

芦屋川の桜の花が満開となった4月8日、芦屋川カレッジ学友会におかれましてはカレッジ40期生の入会歓迎会を開催していただき、またご公務ご多忙の中、高島市長を始め関係者の方々のご列席をいただき、私たちの入会を祝ってくださいまして誠にありがとうございました。

思い返せば今年の4月19日に芦屋川カレッジに入会したときは、お互いに見知らぬ同士だった者が、これまでの講義や合同懇親会、バス旅行、見学会、新年懇親会などを通して知識を深めるとともに会員同士が和気あいあいと意気投合し、最近では水曜日に顔を合わせ講義を受けるのが生活の一部になってまいりました。この状態が永遠に続いたらと感じたのは私一人ではなかったと思います。そこで私はさらなる学習の場へ、そして新たな出会いを求めて芦屋川カレッジ大学院へ入学し引き続き学んでいます。

ご承知のように芦屋川カレッジは昭和60年に芦屋市の主要施策としてシニア世代が自ら教養を高め、地域での社会的役割を果たすことができるように設置され、今日までの38年間優秀な講師陣のご熱心なご協力で充実してまいりました。私たちは先人が築いた芦屋川カレッジの歴史と伝統を受け継いで、これから芦屋川カレッジ学友会の一員として、ともに学んだカレッジの仲間とともに、長きに渡り、楽しく、活発に活動することをお誓い申し上げると同時に学友会の皆様方のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます、40期生を代表しての入会のご挨拶とさせていただきます。

